



ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
 ガバナー——富山 富一
 会長——細井 増雄
 会長エレクト——長谷川 有美
 副会長——斎藤 弘文
 幹事——西山 徳厚
 副幹事——藤田 紘一
 S A A——高森 章仁
 副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～
 例会場及び——三条市旭町2-5-10
 事務局——三条信用金庫本店内
 例会場——TEL 35-3311
 事務局——TEL 35-3477
 FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 47名
先々週出席率	87.5%

ビジター

三条北より

外山晴一さん、山上茂夫さん

先週のメイクアップ

9/14 三条南へ

樺山 仁さん、藤田紘一さん、
 古沢富雄さん、斎藤弘文さん、
 高波久雄さん



会長挨拶

斎藤弘文副会長



たいへん役不足でございますけれども、細井会長が所用のため欠席でございますので、代わってご挨拶申し上げます。

本日は、外山晴一さん、山上茂夫さんようこそいらっしゃいました。どうか最後までごゆっくりお過ごし頂きたいと思っております。

昨夜の天気予報を見ておりましたら、台風が関東を直撃し、こちらにもたいへん影響があるのではないかと云うことで、また朝起きましたら、かなり強い雨が降っておりまして、今日の例会は休みかなと、もし私が会長でありましたら直ぐにでも中止命令を出した訳でございますが、残念ながら副会長の立場でございますので、その権限がなく今日の時間を迎えてしまったわけでございます。

プロ野球の話してございますけれど、巨人が優勝することが、経済の立て直し、景気浮揚のために、たいへん重要な要因のひとつと言われておりました。密かに巨人の優勝を願っておったのですが、残念ながら昨晚の横浜との対戦で、ベタ負けをいたしましたので、巨人ファンにはたいへん申し訳ないとは思いますが、完全に息の根を止められたと云う認識を持つのが正しいとそんな気がしております。まさにあれだけの税金と云うのでしょうか、あれだけの経費を使っておりながら、巨人が優勝できないと云うことは、まさに日本の姿を象徴しているのではないかと、そんな気がしております。やはり良い指導者に恵まれないとだめなのだと、つくづく巨人の試合を見ていますと考えさせられます。

実は長島監督が8月の末に辞表を出して辞めると云う話しがながれました。私は別な面でたいへんな長島ファンでございますので、期待しておりましたが、続投と云うことで、人間の出入進退と云うのは人生の中で一番大事だと思う訳で、もし長島監督が要請を蹴ってピタッと辞めてしまったら、永遠の英雄として名を残したのではないかと、そんな気がしております。1年限りの続投と云うことで、もし長島監督が惨めな結果に終わりましたら、日本国民の象徴であるべき長島をだめにしてしまう。来年は是非こそって巨人ファンになって頂けたら、ありがたい訳でございます。

我々もそろっと進退を考えねばならない歳になってまいりました。しっかりと自分の行く末を見つめ直したいと思っております。

幹事報告

西山徳厚幹事

◎三条市役所生活環境課より
三条市交通安全市民大会にかかる参加協力についてお願いがとどいております。
とき 10月11日(日)AM10:00～
ところ 厚生福祉会館
オープニング行事 交通安全市民パレード
〈集合場所〉まるよし本店駐車場
〈集合時間〉AM9:00～
要請人員 5名お願いしたい。

◎燕三条駅より
燕三条地域親善ゴルフコンペのご案内がとどいております。

とき 10月9日(金)AM8:00～
ところ 下田城カントリー

◎いからしの里より
いからしの里作品展示即売会のご案内がとどいております。

とき 10月2日(金)～4日(日)
AM10:00～

ところ 長崎屋東三条

◎ガバナー事務所より
第2560地区ロータリーアン山の会のご案内がとどいております。

とき 10月17日(土)～18日(日)
AM10:30～

火打山を訪ねて一泊二日

集合 笹ヶ峰国民休暇村駐車場
会費 一人 10,000円

ニコニコBOX



鈴木宗資さん

8月末から11日間東欧(チェコ共和国、ポーランド、ハンガリー共和国)へ旅して来ました。貧乏国ですが経済は右肩上りで元気が良かったです。

今週日曜日に吾妻小富士へ登って来ました。

小越憲泰さん

斎藤さんの卓話楽しみです。

渋谷正一さん

斎藤弘文会員の卓話楽しみにしております。

斎藤弘文さん

たいくつな卓話ですが、がまんして下さい。

丸山行彦さん

都合により早退させていただきます。

斎藤さん卓話聞けず申し訳ありません。

石橋育於さん

本日都合により早退させていただきます。

斎藤さんにはすみません。

榎本 勝さん

都合により早退させていただきます。

9月16日分 ￥ 8,000
今年度累計 ￥ 168,000

卓話

協同組合三条工業会の概要 (平成10年9月4日現在)

協同組合三条工業会 理事長 斎藤弘文殿



1. 組合の設立と構成

- (1) 設立 平成4年10月29日
- (2) 組合員数 540社
- (3) 組合員企業社員総数 13,290人
- (4) 出資金 14,300,000円(2,860口)
- (5) 役員数 理事26名、監事2名、計28名
- (6) 総代数 123名

(7) 業種別部門

- 利工具部門
- 鍛造部門
- 鋏部門
- 表面処理部門
- 作業工具部門
- 鋼材加工部門
- プレス部門
- 溶接部門
- 機械部門
- 化成部品部門
- 機械加工部門
- 印刷紙器・特殊印刷部門
- 金型部門
- 食品加工部門
- 度量衡部門
- 諸工業部門
- 鋳物部門

(8) 事業委員会

- ① 経営労務対策委員会
- ② 技術対策委員会
- ③ 広報委員会
- ④ 福祉活動委員会

(9) プロジェクト委員会

- ① 地域高度技能活用推進事業委員会(雇用促進事業団助成金事業)
- ② 人材高度化支援事業委員会 (")
- ③ 産業廃棄物対策委員会 (")
- ④ 刃物問題と教育問題対策委員会
- ⑤ 三条金物卸商(協)交流委員会
- ⑥ 大型店研究委員会

(10) 組合員企業規模別構成

社員数	企業数	構成比
1名～10名	304社	56.3%
11名～20名	102社	18.9%
21名～29名	44社	8.1%
30名～99名	70社	13.0%
100名～299名	17社	3.1%
300名以上	3社	0.6%

(11) 平成10年度予算規模

1,820万円

収入の内訳

賦課金収入	533万円
高速道路共同支払事業収入	912万円
その他の収入	375万円

2. 組合の近況

協同組合三条工業会は、任意団体三条工業会として昭和39年に発足、平成4年10月に協同組合組織に改組し現在に至っております。組合員数は540事業所を有し、地域の協同組合として最大規模の組織です。当地域は、金属加工の集積地として発展して来ており、あらゆる生活用品や加工部品の供給基地として国内はもとより、広く海外からも高い評価をいただいています。

平成9年12月22日、組合の活性化と組合員企業の事業の発展並びに地域産業の振興を目的として自前の事務局を開設いたしました。開設と同時に準備を進めて来た国（雇用促進事業団）の2つの助成金事業の内、地域高度技能活用推進事業を平成10年1月16日に、また人材高度化支援事業を同年3月16日に正式認定を受けスタートさせました。また、平成10年度に入り従来の事業のほか新たに「刃物問題と教育問題」「産業廃棄物問題」「三条金物卸商協との連携強化問題」「大型店との連携強化問題」を取り上げそれぞれ委員会を設置し取り組みを開始致しました。さらに広報事業として新たに組合員向けファックス通信「短信」を開始、組合員向け広報活動の強化を図るとともに、加えて国の助成金事業の支援を受け「インターネット上で工業会組合員企業のデータベースを構築」する事業に着手致しました。

協同組合三条工業会は組合員企業の繁栄と産地の存続と発展を願い今後も様々な事業展開・新サービスにチャレンジしてまいります。

3. 組合活動状況（主なもの）

- (1) 国の助成金事業（地域高度機能活用推進事業並びに人材高度化支援事業）の推進
- (2) 社会問題に対する積極的提言と実行
 - ① 刃物問題と教育問題
 - ② 産業廃棄物問題
- (3) 販売業態との連携強化策の検討
 - ① 三条金物卸商協との連携強化
 - ② 大型店との連携強化
- (4) ファックス通信「短信」による組合員向け情報発信
- (5) インターネット上で工業会組合員企業のデータベース構築
- (6) 三条工業会部門別懇談会の開催
- (7) 高速道路通行料金共同支払事業の運営
- (8) 産業功労者表彰の実施
- (9) 信用調査斡旋事業の実施
- (10) さんじょう市21世紀産業振興ビジョンの推進
- (11) （仮称）県央リサーチコアの形成推進
- (12) 伝統地場産業振興事業の推進並びに支援
- (13) 技術対策委員会関係事業の実施
- (14) 新入社員教育講座の開催
- (15) 休日計画の策定及び産業カレンダーの作成
- (16) 商工振興交流会の開催
- (17) 国、県各種助成等支援事業の利用促進
- (18) 三条市支援事業の利用促進
- (19) 中小企業出前研修の実施
- (20) イメージアップ事業の実施
- (21) 野球、ソフトボール大会の開催
- (22) 独身社員交流促進イベントの開催
- (23) 健康管理講習会の開催

「刃物問題と教育問題に関する提言書」

最近起きた少年による殺人や傷害事件にナイフが使われていたことが、世間に大きなショックを与え多くの議論を巻き起こしている。

議論は、若者達の凶悪な犯罪が何故発生したか原因を追及することと、どうしたら防げるかの対策を考えることの二つに大きく分けられる。マスコミの取り上げ方はおおげさで、この問題を冷静に判断する意見よりも、ショッキングな面だけを強調している傾向が強い。そうした中から浮かび上がって来たのが危険な刃物が身近にあるから犯罪が起こったのだとして、刃物を持っているか否かの調査や刃物を持たない指導等が始まっている。

刃物が危ないとして犯罪の原因としたり、対策として若者から刃物を遠ざけるべきだと考えることは「臭いものには蓋をする」の諺の通り、目先の現象を隠すだけで本当の原因や対策と言ったものは程遠く、枝葉に触れているだけで何の役にも立たない。

25年程前、青少年が刃物を使って死傷事件を起こした時にも、悪いのは危ない刃物を持たせるからだと言主張する流れが起こり、刃物を持たない運動が展開されたが結局真の原因の究明がなく、しっかりした対策が無かったまま今日に至り、再び同じ問題がもっと深刻になって姿を現している。

第一に私達が認識しなければならないのは、犯罪に使われている道具である刃物が危ないのではなく、使う人間の心や考え方が危ないのであるということだ。年間1万人近い死者を出す日本の車社会は、車が危ない道具だから使うなとか持たせるなどとは言わず、運転する人間の心の在り方を訓練する方向を採っている。

こうした例と刃物を持たせるなどと言う意見を比べてみて欲しい。最近の刃物を使った少年達の犯罪は、昭和20年、戦争に敗れた後の武力放棄の行き過ぎから、学校教育や家庭生活において子供から刃物を排除してしまった結果でもあると思う。刃物の扱い方や使う時の心構えを何一つ躰けられず、教えられなかったことが今度のような凶悪犯罪の原因として挙げられるのではなからうか。

更に世の中に便利を追い求めたり、時間の短縮や労力惜しみで何でもかんでも機械やコンピュータを用いる自動化が、手仕事全般・手道具を不要として来たことも否めない。

刃物と人間との係わりは石器時代から数千万年を数える。人間は二本の足で歩く、言葉を喋る、火を扱える、道具を作りそれを使いこなすことが出来るなど他の動物と比べ幾つかの特徴がある。人間がつくった道具の中で刃物は、最も人間の暮

らしに役立ち、石から金属へと進化を続けながら人々の生活を支えて来た。そして、刃物は現代に至っても尚必要不可欠な道具である。人間の歴史を振り返るならば、人類の発展と道具である刃物の関係が明らかに理解されよう。

ただ、人間がつくり出した便利な道具は、有益である反面使い方によっては危険性も伴うことは、石の刃物の頃から先人は気づいていた。刃物を用いる心構えは、使う人が傷つかぬように、また他人に刃を向けてはいけないということが基本となり、不文律として大人が子供へ、先輩が後輩へと厳しく伝えて来た躰である。これは今日でも便利と危険を合わせ持つ、火薬、車、原子力等に対しても共通する点である。

幼い時から道具を扱う倫理、道具への尊敬をしっかりと身につけさせ、その過程の中で健全な心と手に技をつけさせることが大切だと思う。この辺で改めて刃物を通じ、子供達に人間としての基本的な躰を家庭で始めること、学校においても遠い将来を見据えた根気のいる基本教育のカリキュラムを考えなければならぬ。遅すぎるかもしれないが行わなければ良い道は拓けて来ない。

私たちはそう提言いたします。

□健全で人間性豊かな子供達を育むために

私たちは協力致します□

1. 私たち三条の刃物生産者は、健全で人間性豊かな子供達を育むために、親と子供の両方を対象とした刃物づくりの実技指導や刃物の正しい使い方などの指導を通じて、家庭教育や学校教育に積極的に協力致します。
2. 私たち三条の刃物生産者は、皆さま方の生活がより豊かに、快適に、便利になるためにより良い刃物づくりを目指して更に努力を続けます。
3. 私たち三条の刃物生産者は、日本の道具文化発展に寄与すべく更に精進を続けます。

《三条ローターアクトよりお願い!!》

チャリティーフリーマーケット出店にかかる出店品ご協力のお願い

社会奉仕活動の一環といたしまして、チャリティーのフリーマーケット出店を計画しております。つきましては、ロータークラブの皆様にも出店品のご協力をお願いいたしたく、ご連絡差し上げた次第です。洋服、骨董品、書籍、マンガ本、中元、歳暮の余りもの等、ご家庭で眠っているもので、出店品となりえる物がございましたら、ご連絡いただければ幸いと存じます。

尚、売上金は当クラブと日頃関係の深い長久の家に寄付する予定になっております。

第一回出店計画

1. 日 時……平成10年10月11日(日) 10:00～15:00
2. 場 所……白根市総合公園内 フリーマーケット会場

※尚、出店協力品は取りまとめていただいて10月5日くらいまでにご連絡いただければ幸甚と存じます。

連絡先 塩原裕司 自宅 ☎33-1407 (携帯) 010-88-30301

